

大分厚生連鶴見病院緩和ケア病棟 面談希望用紙

緩和ケア病棟での面談を希望される患者さん・ご家族の方へ

患者さんのお名前	フリガナ	性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性
		年齢	

※ 当てはまる項目に☑をし、空欄は記入してください

※ 記入しにくい個所は、そのまま空白で構いません。

※ ご本人が記入できない場合はご家族のみで結構です。

A. ご本人に伺います。(本人の記入ができない場合はBに進んでください。)

1) 病状説明についてどのように希望されますか？

自分のことなのですべて 家族に説明でよい その他 ()

2) ご本人の意思が伝えられないとき、どなたに(代理意思決定者)任せますか？

3) 主治医の先生から、現在の病状と今後の見通しについて説明を受けられましたか？

説明を受けていない 説明を受けた (内容を下記に記載してください)

4) 緩和ケアあるいは緩和ケア病棟について説明はありましたか？

説明を受けていない 説明を受けた (どのように理解されていますか？)

B. ご家族に伺います。

1) 主治医の先生から、現在の病状と今後の見通しについて説明を受けられましたか？

説明を受けていない 説明を受けた (内容を下記に記載してください)

2) 緩和ケアあるいは緩和ケア病棟について説明はありましたか？

説明を受けていない 説明を受けた (どのように理解されていますか？)

C. 現在の困っていることや症状は？ なし あり（内容を下記に記載してください）

D. 緩和ケア病棟ではどのようなことを希望されますか？

（いくつでもチェックしてください。）

<input type="checkbox"/> からだの「つらさ」を緩和して欲しい。
<input type="checkbox"/> 心の「つらさ」の緩和や、心理的なケアをして欲しい。
<input type="checkbox"/> 個室でゆっくりとすごしたい。家族と病室で一緒に寝起きしたい。
<input type="checkbox"/> お風呂に入りたい。
<input type="checkbox"/> 食べたい物を食べたい。少しでも食べられるように食事の調整をして欲しい。
<input type="checkbox"/> できれば外出・外泊をしたい。
<input type="checkbox"/> 自宅での療養を検討したい
<input type="checkbox"/> その他_____

E. これからの時間で何かやりたいこと、希望することがありますか？

（たとえば、旅行をしたい、趣味をいかしたい、など具体的に）

F. 「緩和ケア病棟への入院に際して一知っておいていただきたいこと」

をお読みください。ご意見、ご希望がありましたらご自由にお書きください。

※ 緩和ケア病棟入院相談の面談料は3,000円（税別、保険適用外）です。

※ 記入しにくい内容であれば、緩和ケア病棟入院相談に来院された時に遠慮なくお尋ねください。

※ 『面談日』に関する日程を連絡します。連絡者のお名前、電話番号をご記入ください。

（出来るだけ平日の9:00～17:00の間に連絡が取れる連絡先をご記入ください。）

お名前	フリガナ		患者さん との続柄
電話番号		携帯番号	

問い合わせ先：大分県厚生連鶴見病院 地域連携センター

〒870-8585 別府市鶴見 4333 番地

TEL:0977-23-7208 FAX:0977-23-7219

-2-



大分県厚生連 鶴見病院

緩和ケア病棟に入院に際して
— 知っておいていただきたいこと —

緩和ケア病棟

- 緩和ケア病棟では、「がん」に伴う症状を和らげ、自宅にいるような雰囲気です。一日でも苦痛なく過ごすことを目的とします。入院前に行うことがあれば早めに対応してください。
- 症状が緩和されれば、訪問看護、訪問介護、在宅医療を利用して、自宅で過ごせるように退院支援を行います。また、入院中は2週間ごとに評価を行い、病状が安定している場合は、在宅や療養施設への移行を検討していただきます。3か月を超えて病状が安定している場合は、在宅や療養施設に移っていただきます。
- 緩和ケア病棟では症状緩和を目的として治療・処置・ケアを行います。
 - (ア) 強い疼痛に対しては医療用麻薬（モルヒネなど）を使用します。
 - (イ) 取りきれないときは鎮静剤を使用し穏やかに休んでいただきます。
 - (ウ) 体調に合わせて、外泊外出も可能です。ペットの面会も可能です。
 - (エ) 経口摂取ができなくなった場合は必要な水分補給と薬剤投与を行います。
 - (オ) 症状緩和のために必要とする血液検査、画像検査を行います。
 - (カ) 病状が悪化した時は看取りの準備をしていただきます。
- 苦痛となったり、苦痛を長引かせる以下の治療・処置・検査は、原則行いません。
 - (ア) 腫瘍に対する手術、抗がん剤治療、ホルモン治療、免疫療法
 - (イ) 腫瘍に対する定期的血液検査、画像検査
 - (ウ) 栄養のための高カロリー輸液、経管栄養、胃瘻作成
 - (エ) 生命維持のために気管切開、人工呼吸、人工透析、輸血
 - (オ) 心疾患や糖尿病などのがん以外の疾患に対する厳密な治療
 - (カ) 病状の悪化時の、昇圧剤、心臓マッサージ、人工呼吸、心電図モニター
- 無料個室は最長2か月間の利用が可能ですが、空室状況、病状によっては有料個室を使用させていただく場合があります。再入院時は有料を使用させていただきます。

